

一般社団法人日本ウッドデザイン協会 ビジネスマッチング部会  
第4回マッチングイベント関西開催 実施報告書  
= 京都・大阪ツアー 2022年10月27日(木)~28日(金) =

10月27日(木)

1. 株式会社中西林業

北山杉発祥の地、中川北川町で400年の歴史ある林家。1970年頃から50年以上、和室床の間の床柱となる磨き丸太を製造、販売。育林家から磨き丸太の製造を始めた15代目は、2002年に法人化、2006年に日本の文化を守る功績により黄綬褒章を受章。現在16代目社長が跡を継ぎ、磨き丸太、絞り丸太、変木などの製造販売事業を拡大している。

<参考サイト><https://nakanishiringyo.jp/>



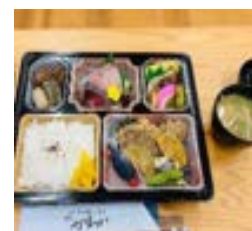
## 2. 一般社団法人京都北山杉の里総合センター 杉の里センター

2010年、北山杉、北山丸太の生産地、北山林業地域の振興を目的に開業したパブリック施設。北山杉に関する展示、小物や製品の販売、休憩コーナー、テラス、会議室、研修施設などがある。北山杉に関するレクチャーや、館内見学、運営する京都北山丸太生産協同組合の植林山や倉庫の丸太製品なども含め、全国各地から観光、体験、視察に多くの人々が訪れる施設となっている。  
<参考サイト><https://www.kyotokitayamamaruta.com/institution/index.html>



## 3. 割烹河合(昼食の弁当のみ) 昼食会場:杉の里センター

季節の川魚や地野菜、山菜のほか、地の鹿や猪など京都ジビエを標榜する地元北山の割烹。杉の里センターでは、天然絞り丸太、人工絞り丸太、磨き丸太の違いをサンプルにてレクチャー。  
<参考サイト><https://ja-jp.facebook.com/Marutake.kawai/>





#### 4. 京都北山丸太生産協同組合

約600年前に始まった京都北山杉の生産加工を行う業者の組合。共同での生産、集荷、加工、販売、宣伝、市場開拓を行っている。1951年設立。北山杉の特徴は、節がなくまっすぐで、非常に綺麗な木肌を持つこと。そのため、30年から40年間、伐期となるまで常に職人が手を掛け丁寧に育成される。杉の里センターでの丸太磨き体験なども、この組合が運営している。

<参考サイト><https://www.kyotokitayamamaruta.com/>



## 5. 京都市地域特産物需要拡大センター 道の駅 ウッディ京北

1996年に旧京北町が開設、2010年に京都市が京都市初の道の駅として事業を引き継いだ。公益財団きょうと京北ふるさと公社が運営。木の香り漂う館内中央には、樹齢600年で倒木となった杉を、樽杉という名称でモニュメントにしている。館内では京北の朝採れ野菜や地元名産加工食品とともに、杉、檜の木工品も展示販売している。

<参考サイト><https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000107101.html>





## 6. 株式会社村山木工

1991年創業、2017年法人設立。伝統工芸の様々な技法を活かした、建築内装用パネル等の製作を行っている。主な作品は、2013年、プリンスホテルサクラタワー全客室のアートパネル。作品はホテル内装の装飾パネル等が多数。2014年、ANAクラウンプラザ広島では京都府産檜を使用したアーチパネルで米・英のデザイン賞を受賞。R型の装飾パネルが美しい。

<参考サイト><https://www.mu-wood.com/>



## 7. MushRoom

2022年8月、株式会社村山木工が工房の隣地にクリエイティブスペースとカフェを併設。レンタルオフィスやカフェとしてだけでなく、宿泊することもできる。村山木工製の装飾パネル、内外装材、照明器具、ウッドデッキなどを実際に使用している。

<参考サイト><https://mushroom-office.com/>





## 8. 株式会社原田銘木店

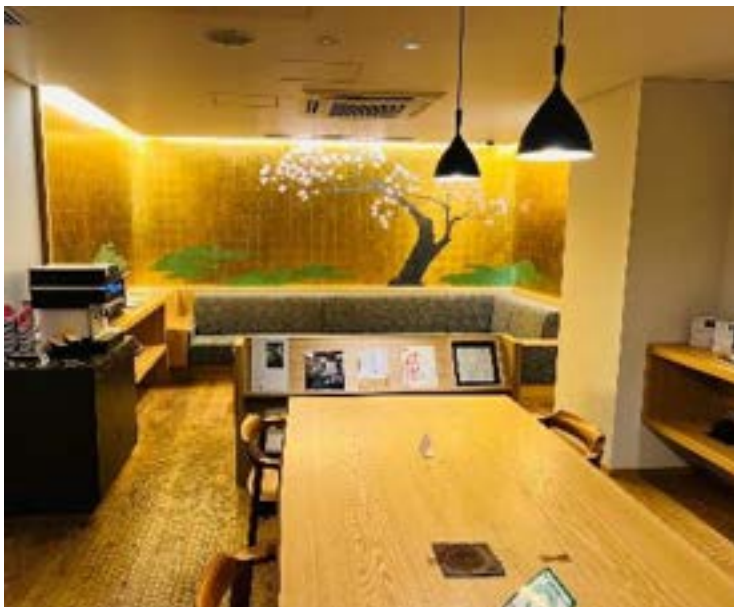
京名栗を親子4代に渡し引き継いでいる。京名栗製造のほか、栗材の製材、杉・檜の林業なども営む。京名栗は、職人の手で手斧(ちょうな)斫り(はつり)する栗の六角柱を、江戸時代に丹波で呼んだのが始まり。手斧斫りの銘木や、栗の柁板、板目板、カウンター材、框、柱など、栗の製品を専門とした希少な銘木店。京北の林を購入し、自社林の杉、檜の原木販売も行っている。  
<参考サイト> <https://www.kyonaguri.com/>



9. 後藤象二郎邸跡地 ホテルリソル京都河原町三条(宿泊・朝食)

2018年より京都に3ホテルを所有するリソルグループ(旧ミサワリゾート)が河原町三条の後藤象二郎邸跡地に建設したビジネスホテル。一部を後藤象二郎記念館としている。

<参考サイト> <https://www.resol-hotel.jp/kyoto/>



10. 旧角倉了以別邸 がんこ御屋敷 高瀬川二条苑(夕食・懇親会)

がんこは、関西を中心とした飲食店グループ。フラッグシップの御屋敷ラインは、関西、東京に9店舗を展開。高瀬川二条苑は400年以上前に、戦国時代の豪商、角倉了以の別邸として建築され、明治には山縣有朋の別荘、第二無隣庵となっている。その庭には古くから地元で親しまれる高瀬川が、ここから木屋町通りに流れていることから、高瀬川源流庭苑と呼ばれている。

<参考サイト> <https://www.gankofood.co.jp/shop/detail/ya-nijyoen/>





10月28日(金)

11. 京都市役所(市役所前駐車場に集合のみ)

1931年竣工となる3代目市庁舎。設計は京都市営繕課。監修は関西近代建築の父、武田五一。東西方向の長方形で左右が完全対称となっていて、中央に塔、車寄せの正面玄関が張り出すネオバロック様式。関西では他に京都府庁舎、兵庫県庁舎のみが残されている。細部装飾の石膏彫刻は、現在では再現不可能と言われ、西洋の外観、東洋の装飾が貴重な存在。

<参考サイト><https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000294354.html>



## 12. 株式会社リヴ 本社ビル SU・BA・CO

2016年竣工、関西初の大型木造商業ビル。5階建、延床面積 1,000 ㎡、1 階が RC 造、2 階から 5 階が木造枠組壁工法(2X4工法)。一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会の型式認定耐火仕様となっている。構造用合板は地元京都府産針葉樹、構造材は国産木材を使用。株式会社三菱地所住宅加工センターが、構造パネルの製作、搬入、組み立てを行った。

<参考サイト><https://www.atpress.ne.jp/news/74835>





### 13. ホテルディスカバー京都長岡京

2019 年竣工、日本初の木造 5 階建ホテル。延床面積561㎡、RC 造と木造2X4工法の混構造となっている。京都府産材を使用し、地元の工務店、地元の職人で施工。特殊な構造、部材を用いずに、適合性判定による一般的な構造計算による建築確認、設計、施工を実現することで、5階建ホテルでありながら、地元の中小工務店でも建築可能としたことが特徴といえる。

<参考サイト> <https://www.atpress.ne.jp/news/192620>



### 14. カフェ&バー まちバル SUBACO(昼食会場・昼食)

ホテルディスカバー京都長岡京が宿泊者だけではなく町に開かれたカフェを1階ホールで運営。

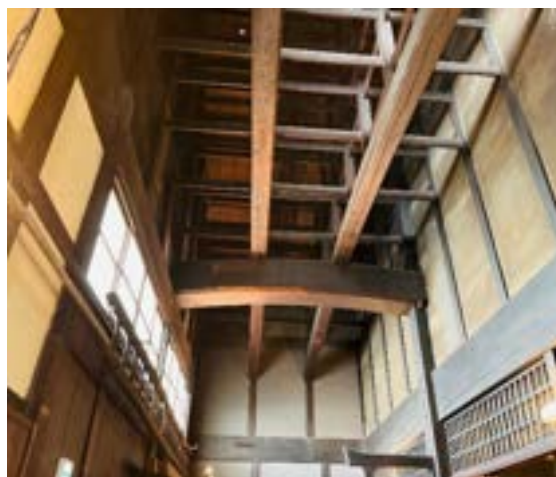
<参考サイト><https://www.discover-nagaokakyo.com/jp/eat/>



15. 重要文化財 旧小西家住宅資料館 コニシ株式会社旧社屋

1903年竣工、築120年となる大阪を代表する名建築。京町屋に見られる表屋造りの、船場堺筋沿いに一際存在感を示す大阪豪商バージョンとなっている。2001年、国の重要文化財に指定。見学は、通常少人数での完全予約制のみ。今回は株式会社コニシ様のご厚意により、大人数での見学許可を頂いた。

<参考サイト><http://www.bond.co.jp/konishishiryoukan/>





## 16. 大阪木材仲買会館

2013年竣工、日本初の耐火木造オフィスビル。設計、施工は竹中工務店。竹中工務店が独自開発した構造部材、システム「燃エンウッド」を中心に、内外あらゆるところに国産木材の無垢材を使い、都市景観と人に安らぎを与え、これからの都市、人、木の関りを方を示す手掛かりになる建築を目指している。

<参考サイト><https://www.takenaka.co.jp/majorworks/41206712013.html>



以上